

本 会 記 事

1. 平成元年度総会並びに研究発表会

四国植物防疫研究協議会の平成元年度総会並びに研究発表会は、約170人が参加して、11月14、15日の両日、高知市、高知電気ビルで開催された。

1) 総 会

14日午後1時から開催され、昭和63年度会務報告が承認された後、平成元年度の事業計画および予算案が上程、承認された。同時に、投稿規定の一部改正案および会報上での論文の体裁案が可決された。なお、平成元年度の新役員は下記のように決定された。〔会長〕浅賀宏一〔副会長〕山中俊彦、葭原敏夫〔評議員〕玉井克朗、脇屋春良、都崎芳久、大広 悟、山本弘幸、上森 実、松岡隆宏、橋 泰宣、倉田宗良、高井幹夫、岡田忠虎、山本孝彦、大日本除虫菊㈱、アグロ兼商㈱四国支店、日本曹達㈱大阪支店四国出張所〔庶務幹事〕山本孝彦、妹尾芳江〔会計幹事〕岩崎真人〔編集委員〕岡田忠虎、谷 利一、倉田宗良、平野千里、高井幹夫、岡本秀俊、小倉寛典、山本孝彦、岩崎真人

2) 研究発表

14日午後1時50分から15日12時まで、つぎの12題の講演が行われた。

1. 広田恵介・貞野光弘（徳島農試）・加々美好信（阿南病虫防）
イチゴ炭そ病の発生状況と施肥方法による防除効果
2. 金磯泰雄（脇町病虫防）
トマトの斑点細菌病に対する薬剤防除
3. 楠 幹生（仲多度農改）・秋山修一・都崎芳久（香川農試）
香川県仲多度地区における裸麦の黄化症状－発生状況と同症状から分離されるPythium属菌について－
4. 森 充隆・川原清剛・宮下武則（香川県病虫防）
香川県におけるスクミリンゴガイの発生状況と薬剤防除試験について
5. 青木 敏・渡辺丈夫（香川農試）
コナガ顆粒病ウイルスの病原性と安定性
6. 宮田哲至・村井啓三郎・安富範雄・梅津健治（大塚化学鳴門研）
コナガに対するオンコル剤5の効果発現について
7. 松岡隆宏（愛媛農試）
クリ毬果を加害するカメムシ類
8. 浜渦光彦（南国農改）・松崎征美・飯野尚之・土田 健（南国病虫防）
施設栽培のオオバ（シソ）に発生する病害虫と防除の問題点
9. 山下 泉（高知農林技研）
コガネムシ類によるショウガの被害とその防除
10. 広瀬拓也（高知農林技研）
高知県におけるアブラムシ類の薬剤感受性
11. 林 直人（日植防高知試）
ミナミキイロアザミウマの薬剤感受性とその変化－農業委託試験成績から－
12. 加々美好信・吉岡茂樹（阿南病虫防）
ハウスミカンのミカンハダニ防除法について

3) 特別講演

14日午後4時から5時30分まで、高知大学農学部平野千里教授による「シロテンハナムグリの誘引物質－活性条件についての考察－」、日本植物防疫協会高知試験農場齊藤 正場長による「イネおよび野

菜の主要病害に対する防除試験の動向「四国地域における最近の農業委託試験から」の講演が行われた。

4) 協 議

15日9時から10時まで、平成元年度の病虫害発生の特徴とその対策並びに防除上の問題点につき、各県防疫係の各氏より報告が行われた。

2. 次年度大会

平成2年度総会および研究発表は愛媛県が担当し、平成2年11月中旬に松山市において開催されることが決められた。